

東京計器株式会社

年間700時間以上かかっていた
議事録作成を4～5割削減。
議事の漏れや論点のズレも起こりにくく。



導入前の課題

- 年間の議事録作成に、取締役会で200時間、部門会議で550時間以上かかっていた
- ボイスレコーダーで録音しており、遠くの人の発言をうまく拾えなかった

導入後の効果

- 取締役会は4～5割、部門会議は2～3割の議事録作成時間を削減した
- YAMAHAのスピーカーマイクによって遠くの人の声も鮮明に録音されるようになった

議事録作成に膨大な時間がかかっていた

これまで取締役会の議事録は、ボイスレコーダーで録音した音声を何度も聞き直し、要約しながら書き起こして作成していました。取締役会は年間17回、合計で約40時間に及び、その議事録作成には合計200時間以上を費やしていました。他の業務に支障が出ることもあり、特に繁忙期には大きな負担となっていました。

部門会議の議事録作成では、録音した音声に加え、アジェンダやメモ、記憶を頼りに大枠を作成し、細部は録音を繰り返し聞き直して補っていました。部署によっては議事録係を配置し、会議中にその場で議事録を作成するケースもありました。部門会議については、年間150時間分の会議に対して550時間を費やしており、ボイスレコーダーを使用していたため、遠くの発言者の声が拾いにくいという課題もありました。これにより、部門会議の議事録作成も非常に負担の大きい業務となっていました。

セキュリティ要件を満たすスタンドアロン型を選定

こうした課題を解決するため、文字起こしツールの導入を検討しました。当社では事業の特性上、クラウドの使用に制限があるため、スタンドアロン型の文字起こしツールを探していました。上司から紹介されたWebセミナーで知った「ScribeAssist」は、セキュリティ要件を満たすだけでなく、フローティングライセンス方式※により複数部署・拠点での利用も可能で、コストパフォーマンスの面でも優れていたため、導入を決定しました。

※ ライセンス認証をサーバー（クラウド・社内サーバーが選択可能）で行う方式

4～5割ほど議事録作成時間を削減

「ScribeAssist」を導入したことで、取締役会の議事録作成時間は4～5割、部門会議では2～3割の削減効果がありました。誤変換はあるものの、あらかじめ文字起こしされた内容をもとに編集することで、何度も音声を聞き直す手間が減りました。また、聞き直さなくても前後の発言を確認できるため、会議の流れを把握しやすくなった点も大きなメリットです。

さらに、Web会議で使用していたヤマハ社のマイクスピーカーシステム「YVC-1000」を利用することで、発言者の声をより正確に拾えるようになりました。

議事録作成の心理的ハードルも低下

議事録作成のスピードが上がったことで、関係者への確認も早く出せるようになりました。

**TOKYO
KEIKI**

東京計器株式会社

サービス	ScribeAssist
業種	メーカー
利用シーン	社内打合せ、経営会議
導入	2025年3月

た。ゼロから議事録を作成する必要がなくなったため、取り掛かる際の心理的ハードルも下がりました。議事録によって会議の全体像や論点の流れも把握しやすくなり、議事の漏れや論点のズレも起こりにくくなったことで、会議の質も向上しています。



▲ 東京計器株式会社の役員会議室

導入実績

2025年3月現在／議事録ソリューションの導入実績

民間企業・**1904** 件以上
団体

金融

- ・オリエントコーポレーション
- ・オリックス生命保険
- ・さわやか信用金庫
- ・湘南信用金庫
- ・大同生命保険
- ・東日本銀行
- ・福井信用金庫
- ・みずほ銀行
- ・三井住友銀行
- ・明治安田生命保険相互会社
- ・横浜銀行
- ・りそな銀行

化学

- ・ポラオールビス・ホールディングス
- ・三菱ガス化学
- ・UBE

公共インフラ

- ・NTTコミュニケーションズ
- ・コスモエネルギーホールディングス
- ・四国電力
- ・全日本空輸
- ・東日本旅客鉄道

建設

- ・飛鳥建設

報道機関

- ・朝日新聞社
- ・仙台放送
- ・十勝毎日新聞
- ・日本金融通信社
- ・日本テレビ放送網
- ・フジテレビジョン

医療

- ・会津中央病院
- ・稲沢市民病院
- ・日本赤十字社
- ・日本超音波医学会

JA

- ・全国共済農業協同組合連合会
- ・仙台農業協同組合
- ・とびあ浜松農業御同組合
- ・飛騨農業協同組合

中央省庁

- ・経産省
- ・財務省
- ・内閣府
- ・防衛省

その他

- ・アスクル
- ・And Do ホールディングス
- ・セイコーグループ
- ・西武ホールディングス
- ・日本テレワーク協会
- ・びあ
- ・本田技研工業
- ・LIXIL

製品情報

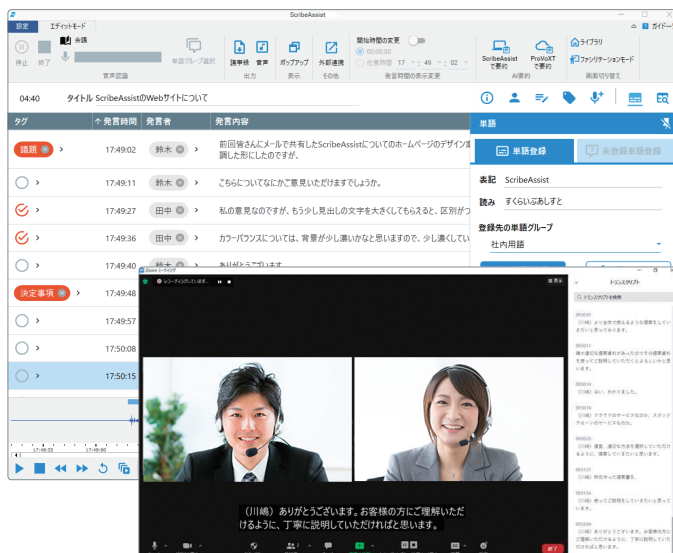


AI音声認識とAI要約で 議事録作成を自動化します

ScribeAssist (スクライバアシスト) は、音声録音からテキスト化、編集、要約までをワンストップで実現する、AI音声認識で議事録作成を自動化するアプリケーション。

スタンドアローン型アプリケーションなので、インターネット接続の有無にかかわらず、いつでもどこでもご利用いただけます。リアルタイム認識、ファイル認識の両方に対応しており、Web会議のみならず、テレワーク、対面での会議や商談・打ち合わせ、経営会議、セミナー・講演会、研修、インタビュー、面談など、様々なシーンでの議事録作成業務の効率化を支援します。

ChatGPTと連携した自動要約機能も搭載し、議事録作成にかかる手間を大幅に削減します。



製品詳細ページはこちら

